

2013年12月期 第1四半期決算説明会



ジャパンインターナショナルボートショー2013でのヤマハブース

ヤマハ発動機株式会社
2013年5月14日

本日も説明する内容

2013年12月期 第1四半期決算

- | | | |
|---------|--------|-------|
| ■ 概要説明 | 上席執行役員 | 墨岡 良一 |
| ■ 事業別説明 | 財務部長 | 石井 武夫 |

● 業績予想について

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動などが含まれます。

概要説明

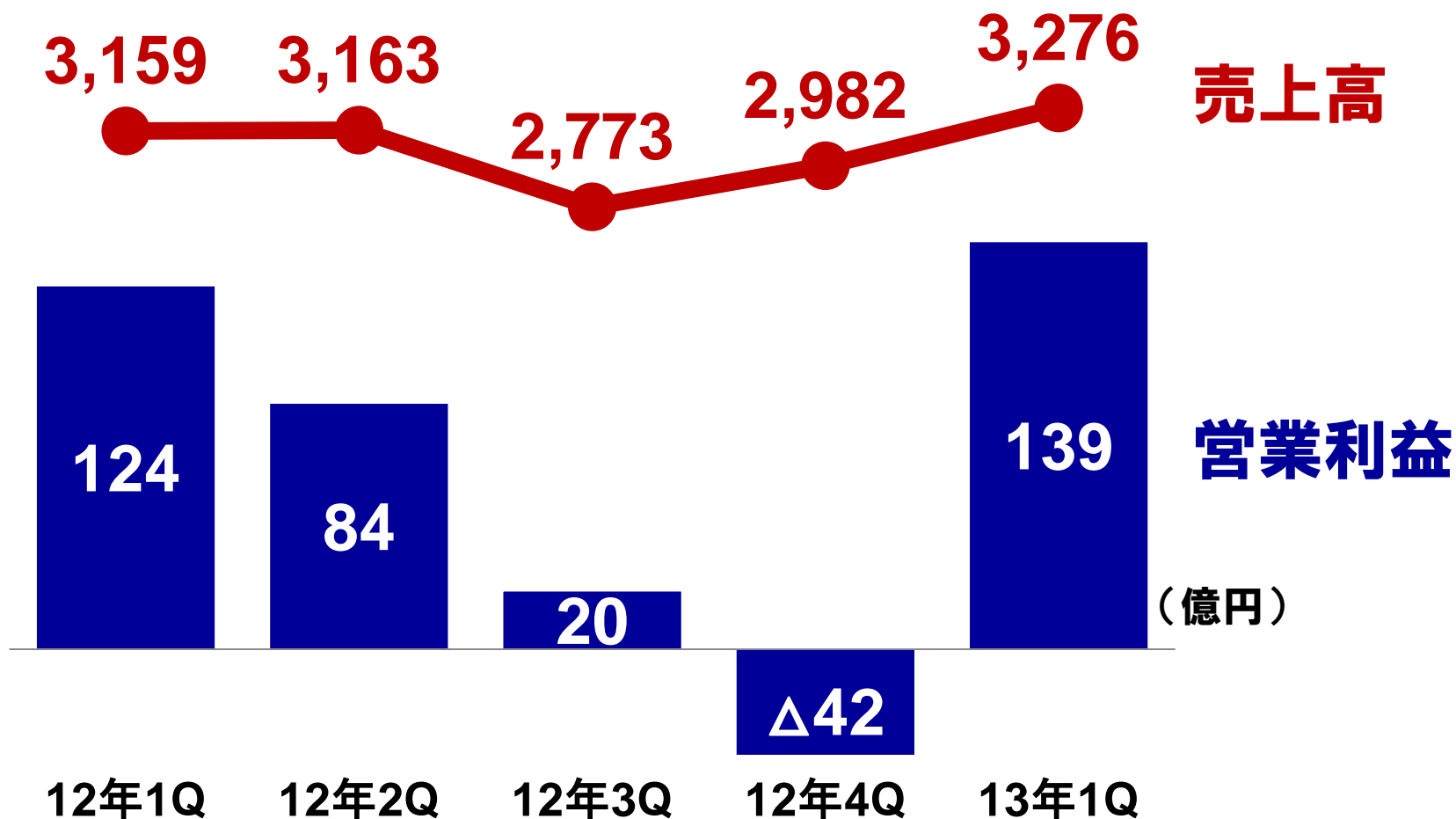
前年比、増収・増益を目指す：

先進国収益改善・新興国二輪車の規模回復・その他事業拡大

（億円）

	2012年	2013年予想
売上高	12,077	14,000
営業利益	186	500
営業利益率	1.5%	3.6%
経常利益	273	520
当期純利益	75	280
為替レート （\$ / €）	80円/103円	87円/115円

売上高 3.7%増、営業利益11.6%増（前年比）。
 売上高：二輪車・マリン・特機増加、営業利益：マリン増加。



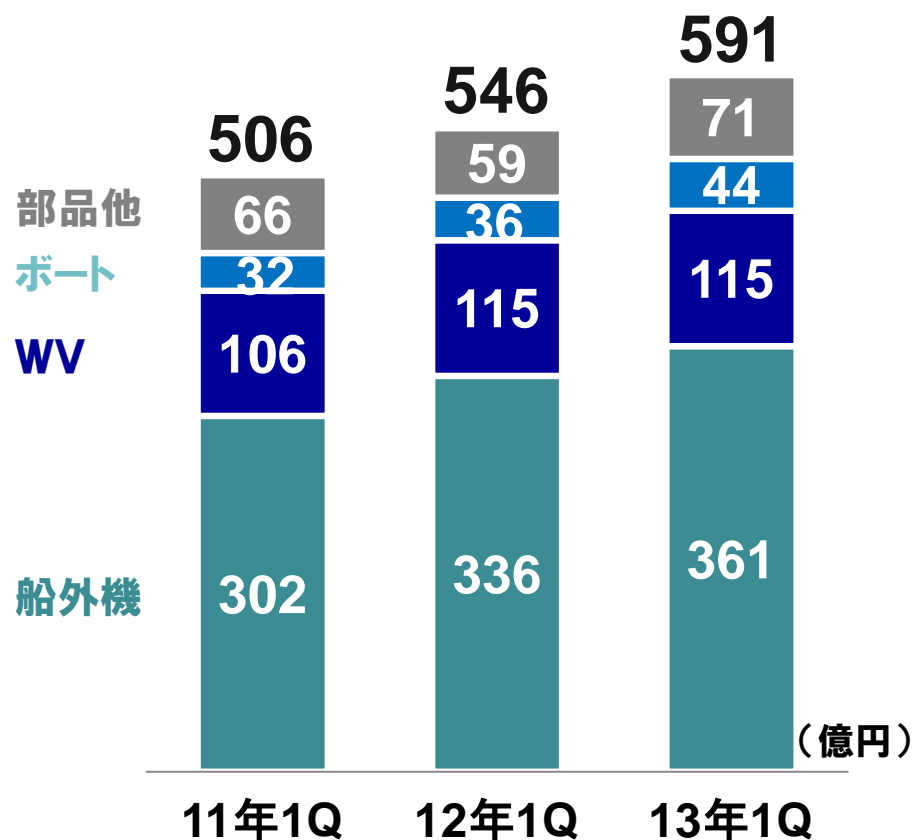
船外機・WV：米国販売堅調、新商品投入実施。

ボート：中・大型艇販売好調、海外事業展開準備進む。

■新商品

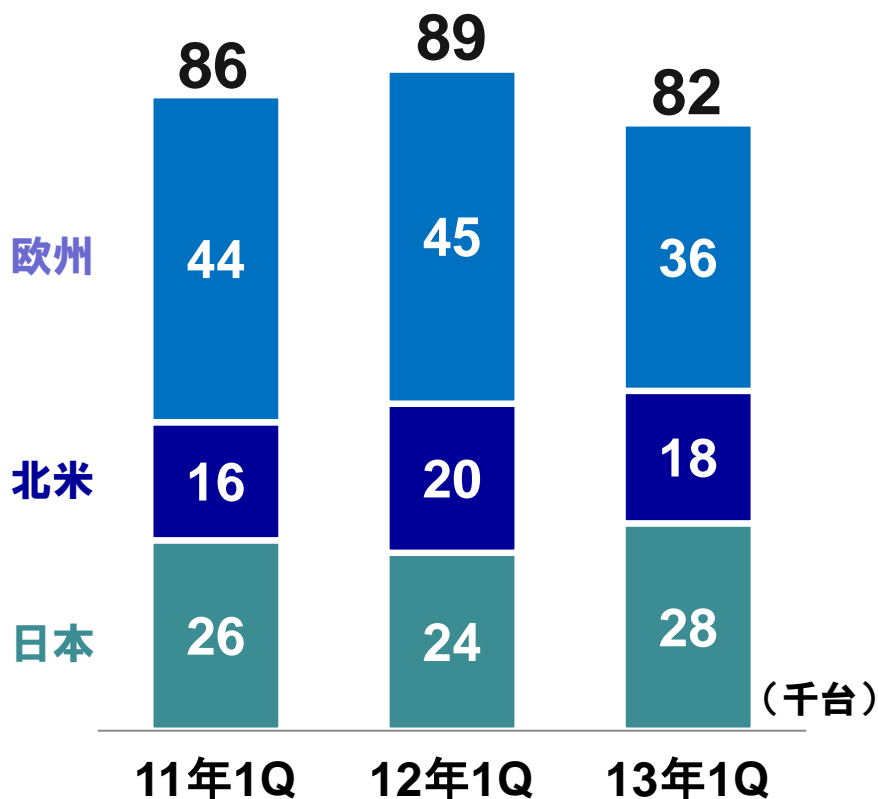
- ・船外機
200馬力、軽量・コンパクト
- ・スポーツボート
19フィート小型高性能艇
- ・ヘルムマスター
世界初の船外機操船システム
(ボルボ・ペンタ社共同開発)

売上高



日本：新商品投入や限定車導入等の施策により販売増。
北米：天候影響による出荷遅れ・モデル切替え調整。
欧州：景気減速により市場低迷。

出荷台数



■2Q以降：
主要カテゴリーへの積極的な新商品投入

・ニュークルーザー



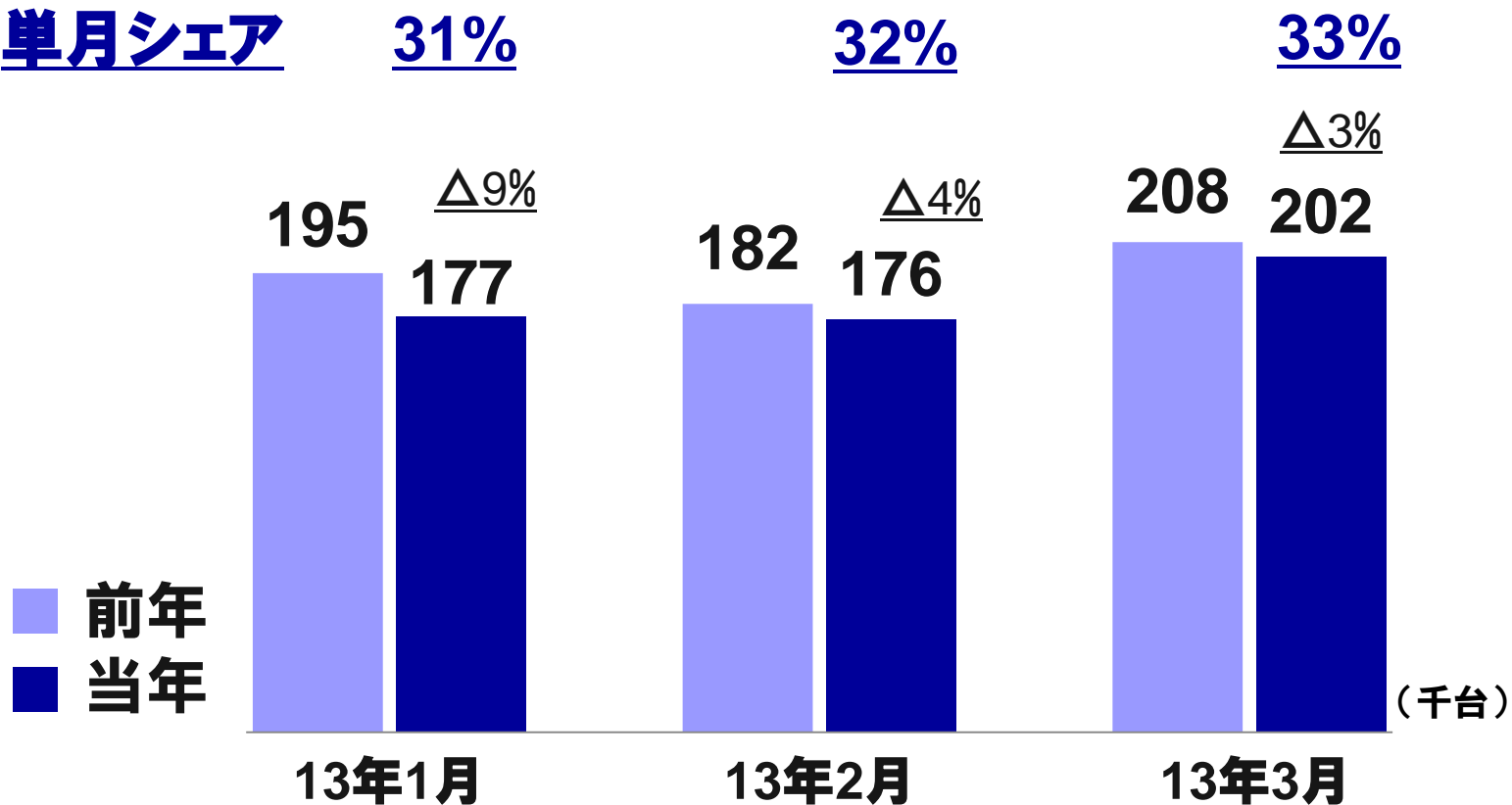
BOLT 4月(北米)

・スポーツ、スクーター、コンペ 順次投入

1Q: 頭金規制進むなか、販売改善・シェア回復傾向。
 2Q以降: 需要期に向け新商品継続投入、販売増加を目指す。

小売台数

単月シェア



Xeon RC 1月



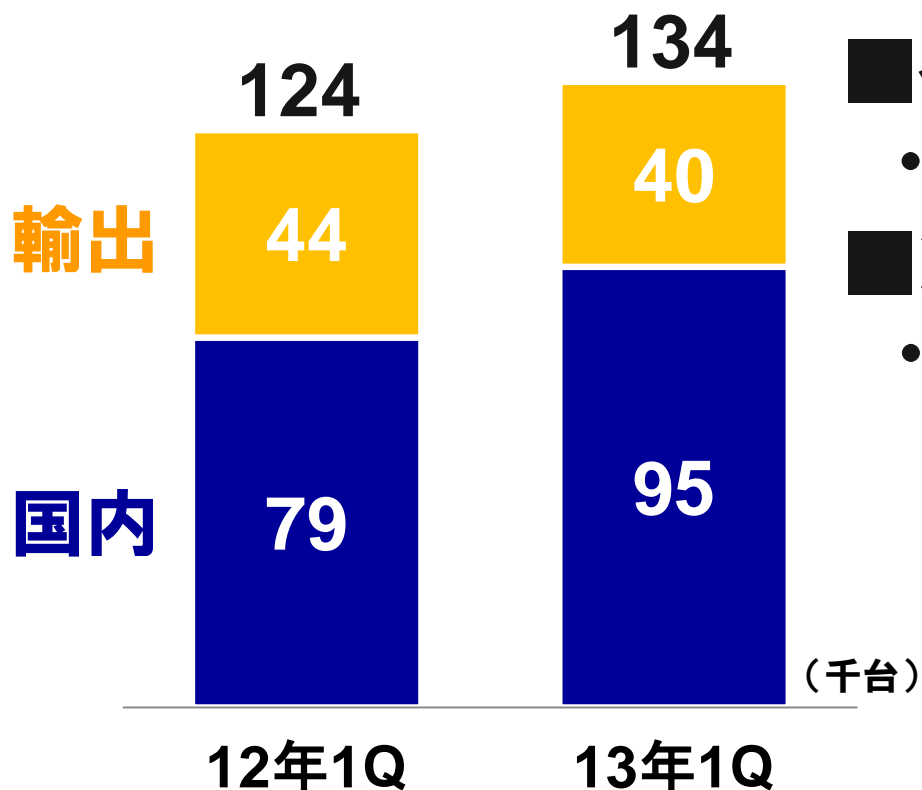
Mio GT 2月



X Ride 4月

1Q: スクーター投入効果により前年比8%増。
2Q以降: 商品ラインアップ強化、事業基盤づくりを進める。

出荷台数



■スクーターモデル強化・投入(5月)

■インド統合開発センター稼働開始
・市場品質基準に合わせた製品設計

■第2工場(チェンナイ)計画推進
・2014年稼働開始 目標

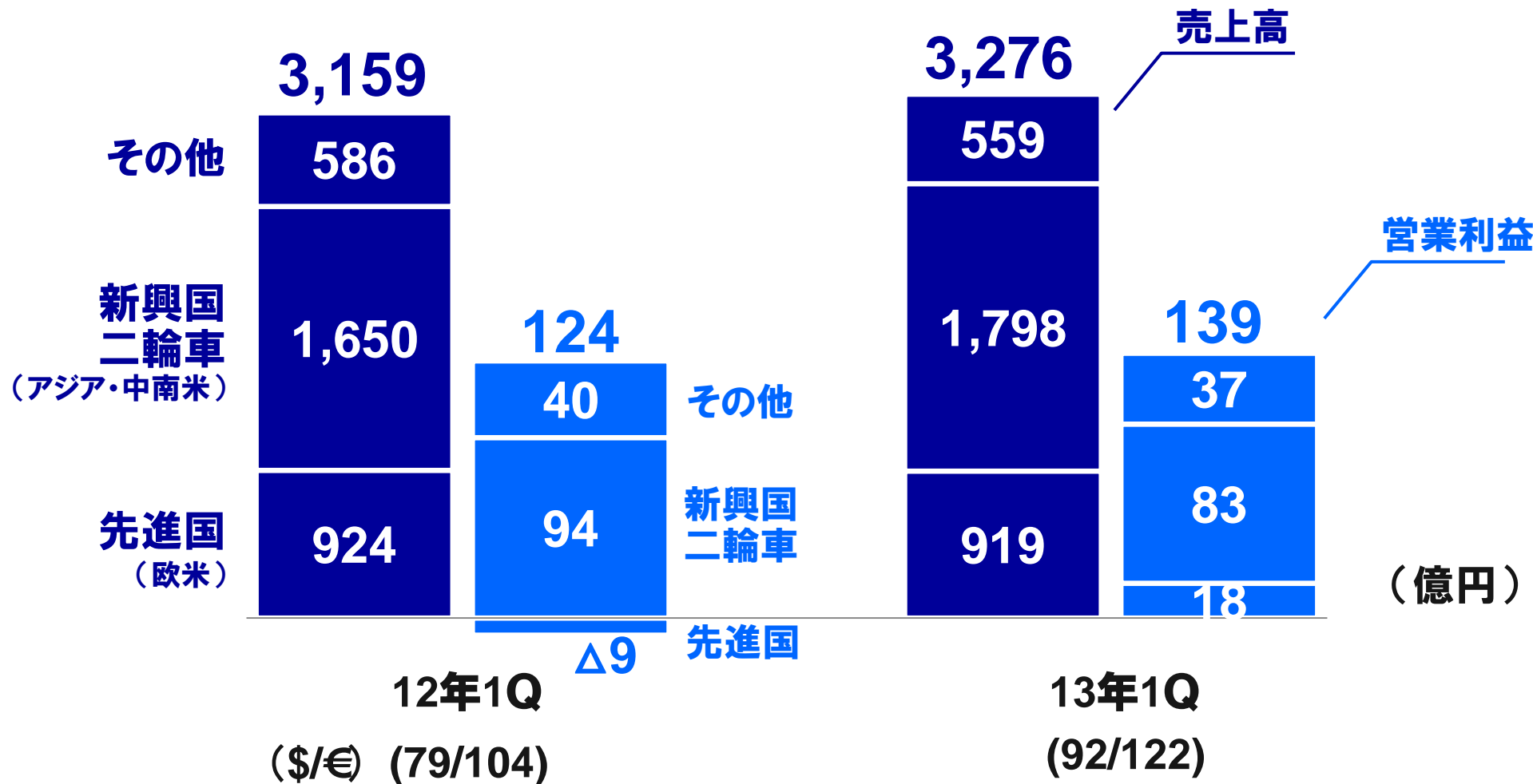
CYGNUS
RAY



先進国：マリン事業堅調・円安効果等により増益。
新興国：インドネシア等の販売減少により減益、
 2Q以降の挽回を目指す。



先進国事業、四半期での黒字化を達成する。



※ 先進国:日米欧向二輪車・四輪バギー・船外機・ウォーターバイク・スノーモビル、その他:先進国、新興国二輪車以外

事業別説明

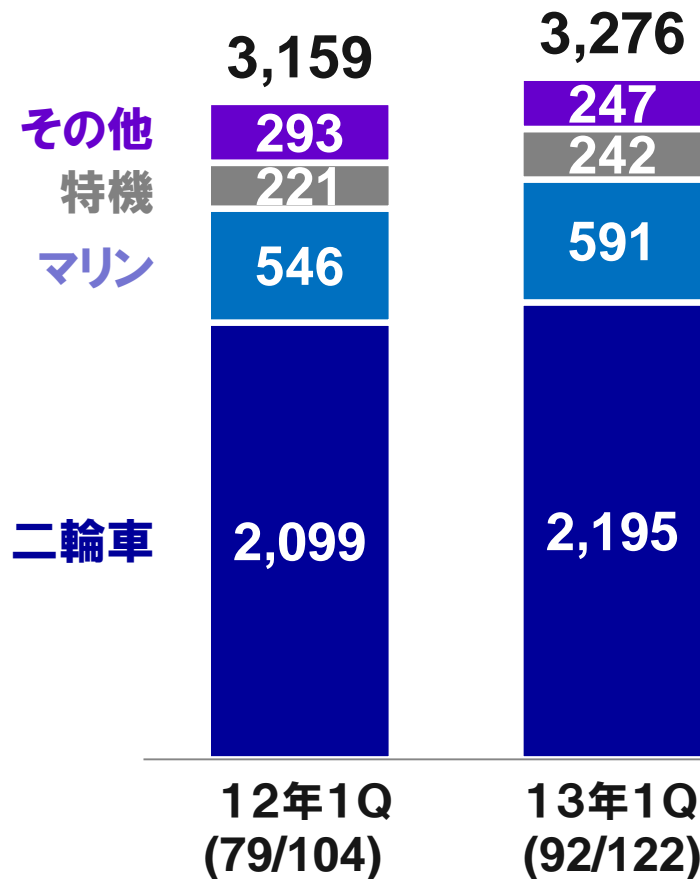
売上高は販売台数減少も、円安効果などで増収。
 営業利益は台数減を円安効果やコスト削減により吸収し増益。
 経常利益以下は為替予約の評価影響などにより前年比減少。

(億円)

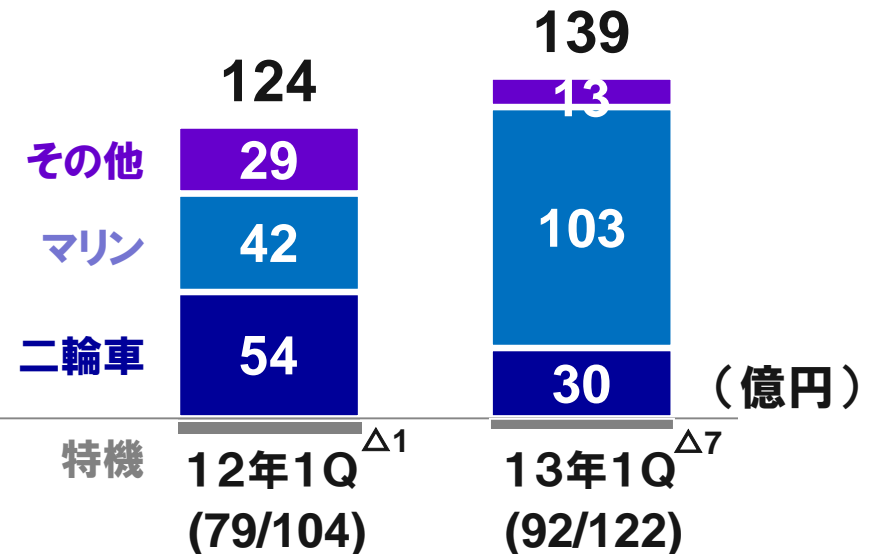
	12年1Q	13年1Q
売上高	3,159	3,276
営業利益	124	139
営業利益率	3.9%	4.2%
経常利益	170	134
当期純利益	115	74
為替レート (\$/€)	79円/104円	92円/122円

売上高：二輪車・マリン・特機増加、営業利益：マリン増加。
2Q以降、更なる増収・増益を目指す。

売上高



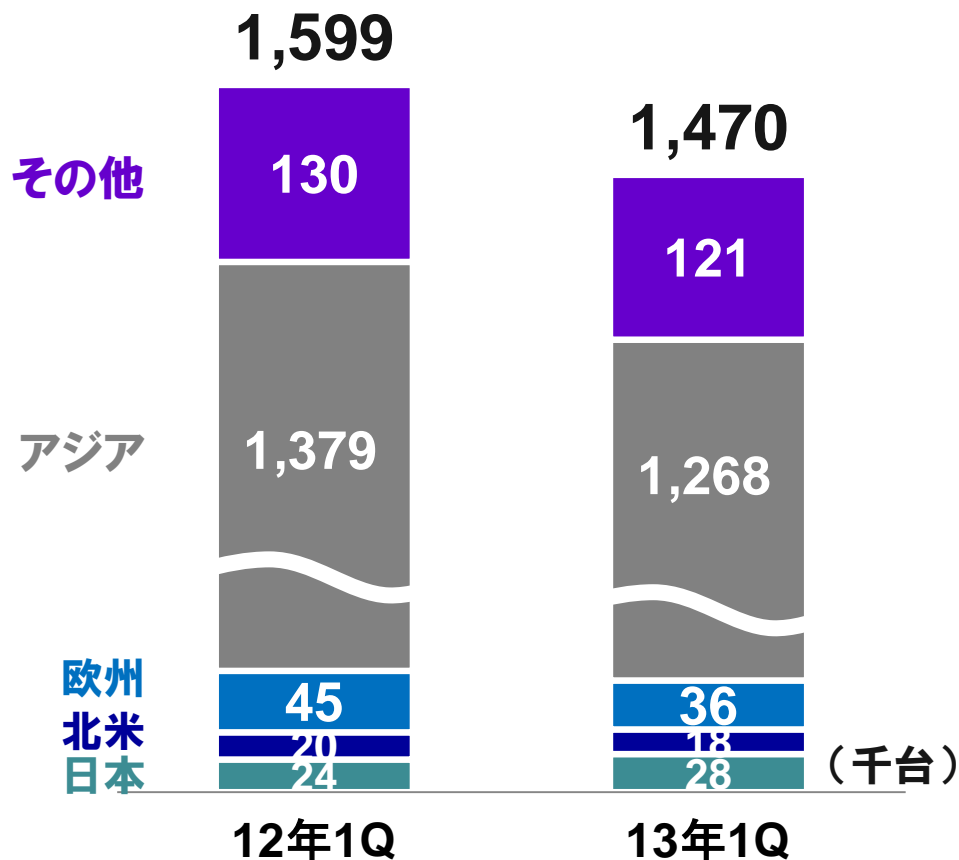
営業利益



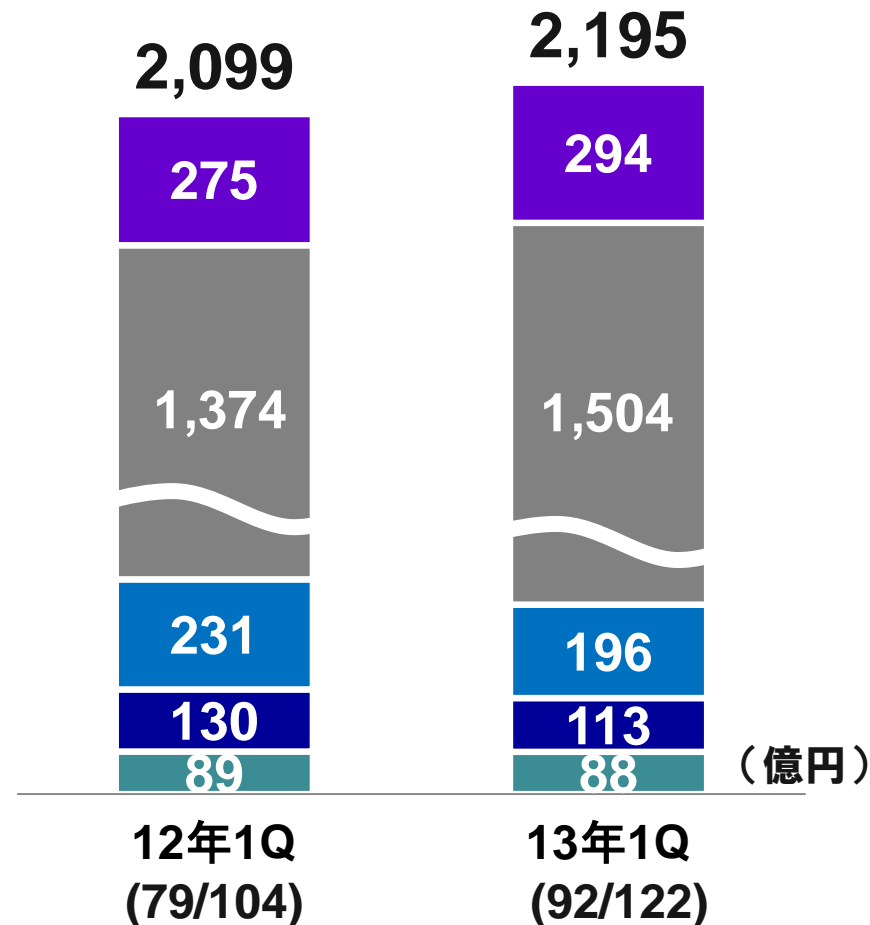
※ その他：産業用機械・ロボット含む

米国需要遅れ・欧州市場低迷・インドネシア頭金規制影響等で販売は一時的減少。2Q以降、新商品投入等により挽回する。

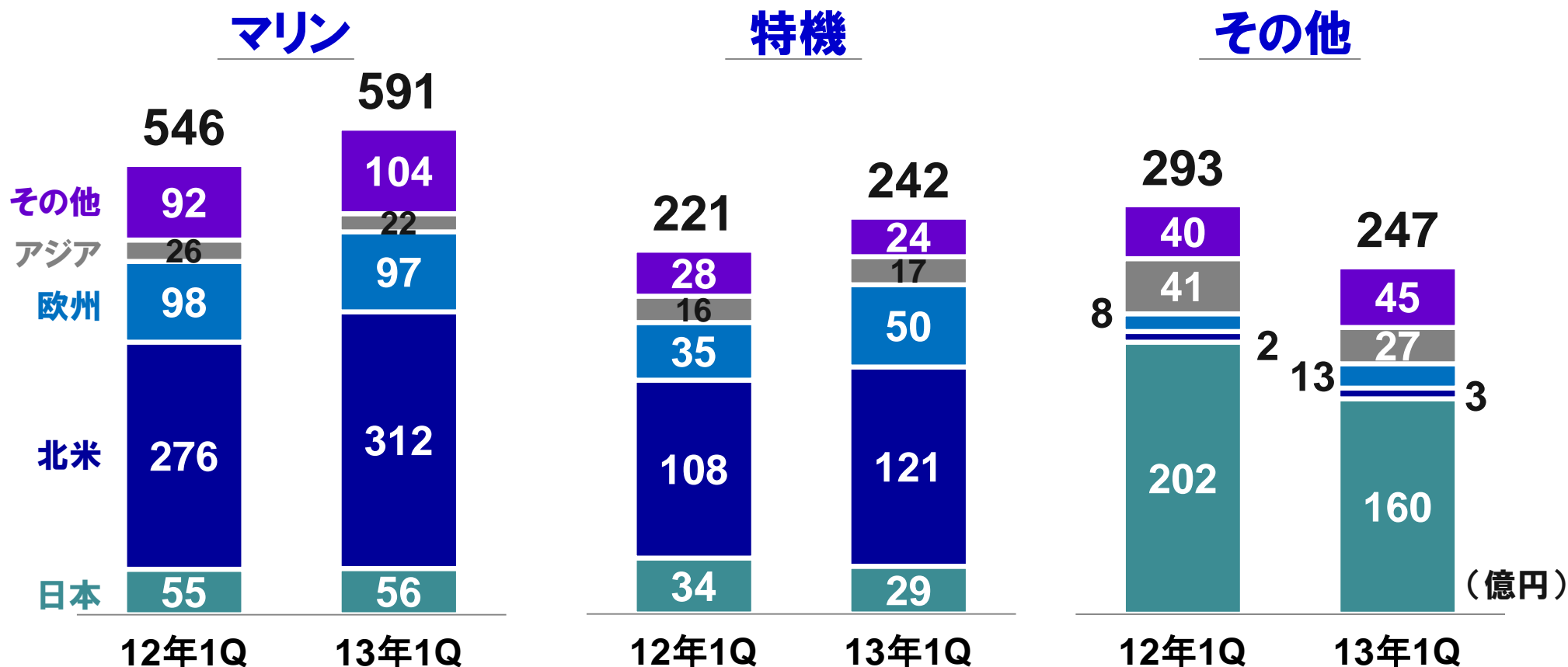
出荷台数



売上高



マリン・特機は前年比増加、
産業用機械・ロボットは設備投資冷え込みで前年比減少。
2Q以降、その他事業の改善に取り組む。



※ その他：産業用機械・ロボット含む



YAMAHA

Revs Your Heart

売上高 (億円)

	1Q		対前年
	12年実績	13年実績	
二輪車	2,099	2,195	95
マリン	546	591	46
特機	221	242	21
産業用機械・ロボット	76	61	△16
その他	217	187	△30
合計	3,159	3,276	117

営業利益 (億円)

二輪車	54	30	△25
マリン	42	103	61
特機	△1	△7	△6
産業用機械・ロボット	8	2	△5
その他	21	10	△11
合計	124	139	14

営業利益率 (%)

二輪車	2.6%	1.4%	△1.2%
マリン	7.7	17.4	9.7
特機	△0.6	△2.8	△2.3
産業用機械・ロボット	10.0	3.8	△6.2
その他	9.8	5.6	△4.2
合計	3.9	4.2	0.3

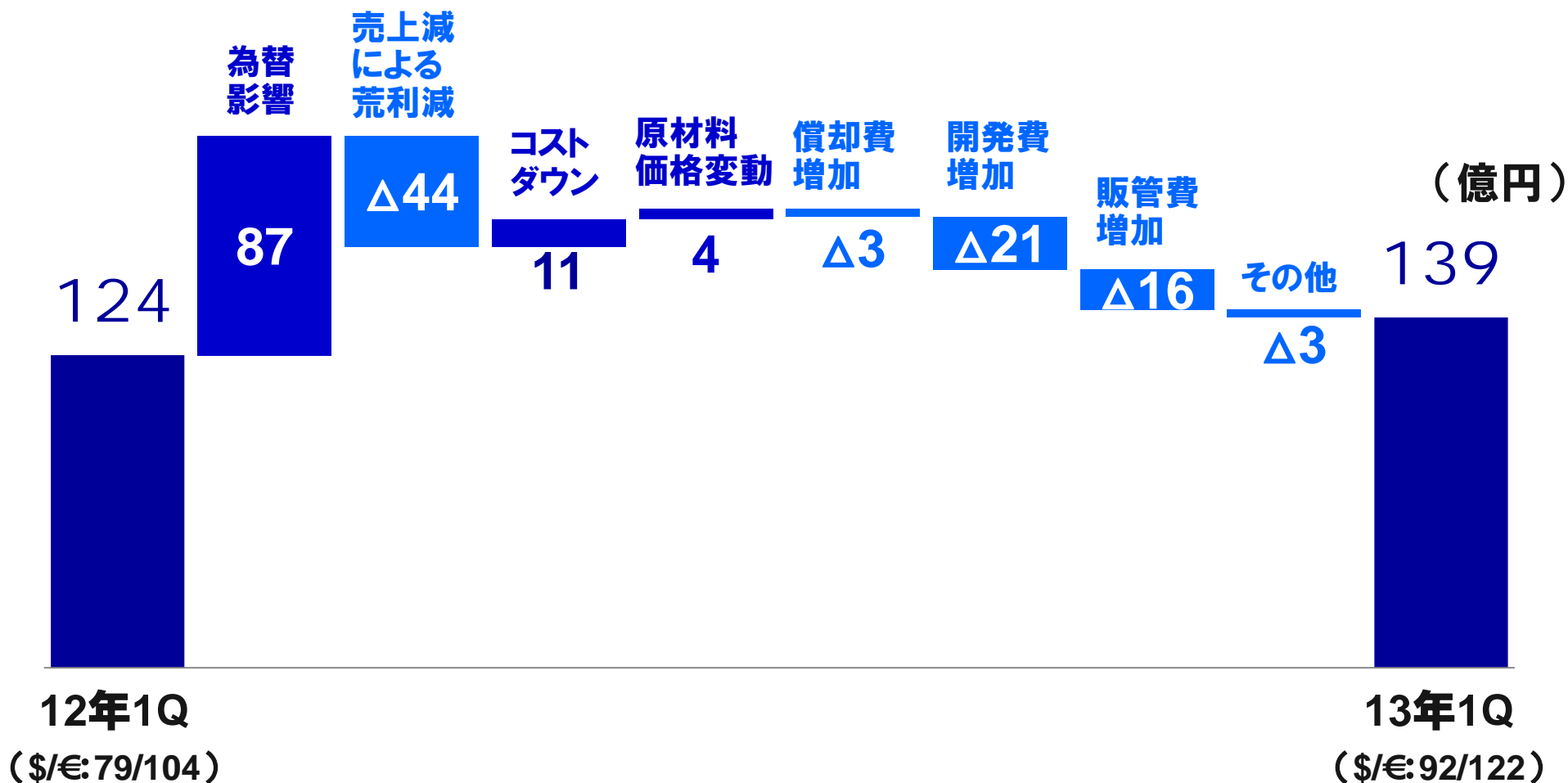
	13年1Q			
	US\$	EURO	その他	合計
（億円）				
本社の輸出入にかかる為替影響	55	24	0	79
粗利益の換算影響（海外子会社）	13	6	36	55
販管費の換算影響（海外子会社）	△11	△9	△26	△47
営業利益への為替影響	57	21	10	87

為替感応度

1円の変動が営業利益に与える影響額

US\$	EURO
4億円	1億円

2013年1Q 営業利益変化要因（対前年）



【ご案内】

当社ウェブサイトのIR情報も是非ご覧下さい。

ヤマハ発動機ウェブサイト <http://www.yamaha-motor.co.jp>

ヤマハ発動機ウェブサイト <http://www.yamaha-motor.co.jp/global/>
(英語版)

IR情報 <http://www.yamaha-motor.co.jp/profile/ir/>

決算説明会資料 <http://www.yamaha-motor.co.jp/profile/ir/report/>
ファクトブックやアニュアルレポート <http://www.yamaha-motor.co.jp/profile/ir/annual/>

IR情報 英語版 <http://www.yamaha-motor.co.jp/global/ir/>